

2012年度事業報告書

2013年5月

学校法人東教育研究団

I、法人の概要

1、設置学校ならびに入学定員、学生数計 (2012年5月1日現在)

(1) 事業構想大学院大学

事業構想研究科 入学定員 30名 学生数計 36名

2、沿革

2011年10月 学校法人東教育研究団設立

2012年 4月 事業構想大学院大学開学

2012年 7月 事業構想研究所主催による一般公開セミナーを開催

2012年 9月 出版部から月刊「事業構想」創刊

2013年 1月 広報紙第1号発行

3、役員等 (2013年3月31日現在)

(1) 理事及び監事

理事 7名

監事 2名

(2) 評議員及び顧問

評議員 16名

顧問 2名

4、教職員数 (2012年5月1日現在)

(1) 大学院教員数

専任教授 13名 専任准教授 1名 兼任教員 6名 合計 20名

※ゲスト講師は除く。

(2) 職員数

5名

II 事業の概要

1、事業構想大学院大学

(1) 開学

4月5日に入学式ならびに開学記念パーティーを帝国ホテルにて実施。平野文部科学大臣（当時）はじめ約500名の来賓を迎え、盛大に執り行われた。36名の院生が入学した。

(2) 教育研究活動

開学初年度にあたり、本学の理念を達成するべく、月例の研究科委員会ははじめ、教育研究活動の検討を進めつつ、教職員の協力のもと、授業が実施された。本学の特長の1つでもある、多彩で経験豊かな専任教員陣に加えて、企業経営者、クリエイター、ジャーナリスト、研究者など134名のゲスト講師を各授業に招き、授業テーマに沿い講義が実施された。実践的な授業は、院生に対する授業評価調査でも高い評価が得られている。

2月16日には、2013年度の演習を決めるための事業構想企画発表会を実施。同日現在在籍する35名の院生が全員出席した。当該年度は、1名の院生が健康上の理由により春学期末で退学したが、それ以外の院生35名が進級している。

(3) 授業外における院生に対する支援活動

授業以外にもサロンスピーチと題して、ゲストを呼んだ講演会を秋学期を中心に6回実施した。

(4) 入学者選抜

当該年度では、2013年度の入学者を前年度同様30名の入学定員で募集した。入学選抜は、10月と2月に実施。合計40名の合格者を出し、うち38名が入学手続きを行った。なお、その後2名が入学辞退、1名が入学と同時に休学し、結果35名が2013年度に入学している。

(5) その他

院生が中心となり、3月には第1回事業構想フォーラムを「イノベーションを起こす人材とは」をテーマにし開催し、151名が来場した。

2、収益事業

(1) 出版事業

9月に月刊「事業構想」を創刊。全国主要書店で創刊キャンペーンを実施。以降、毎月1日に有力書店ならびにインターネット上で発売している。創刊とともにデジタル版も発行している。同誌を読んで大学院への資料請求をしてくる人も多く、大学院のブランド向上に寄与している。また、有力経営者や著名人の取材時には、院生に向けた公開も実施しており、院生の教育研究活動にも寄与している。

なお、雑誌は日本航空、全日本空輸の全国の空港ラウンジにも置かれている。

(2) 事業構想研究所

7月には「事業承継セミナー」を事業承継者を中心に65名が来場し開催した。来場者には高い評価を得た。

当該年度末にはプロジェクト研究の一環として大手企業4社によるPaperPowerプレ研究会が開始された。その他、企業テーマによるプロジェクト研究の開催も内定し、2013年度から複数が発足していく予定になっている。

3、広報・広告活動

(1) 広報新聞の発行

1月にタブロイド版の広報新聞を発行。年賀状代わりとして関係各所、資料請求者等に送付した。今後は年3回発行していく予定。

(2) 新聞広告

大学院院生の募集を目的に、12月から1月にかけて読売新聞、朝日新聞、日本経済新聞に広告を掲載した。また、9月以降、主要新聞の1面下に出版広告（月刊「事業構想」）を掲載した。

(3) イメージ動画

8月に大学院のイメージ動画（30秒×3本）を制作。インターネット上で公開した他、説明会やセミナー会場などで上映している。（なお、本年4月16日から5月31日までスターフライヤー機内でも上映）

(4) インターネット広告

フェースブックやインターネットマガジン等で広告を掲載しPRしてい

る。

(5) その他

理事長はじめ各教員が各メディアに登場している。

4、参考資料

広報新聞（1月発行、5月発行） 別添

Ⅲ 財務の概要

別添資料参照（資料2）